

2011年度

科目名	薬局実習				
担当教員	小川 雅史、小西 廣己、名徳 倫明、上島 秀樹、初田 泰敏、 廣谷 芳彦、西井 諭司				
配当	薬科5			コード	80289
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	10
授業テーマ	【必修】薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得する。				
目的と概要	1 薬局の社会的役割を理解し、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供などの基本を修得する。 2 医療現場での実習を通して、医療人としての倫理観と責任感を培う。				
成績評価法	実習態度や実習到達度などを参考にした実務実習指導薬剤師の評価をもとに実務実習委員会が総合的に評価し、可否を判定する。				
テキスト	病院・薬局実務実習近畿地区調整機構監修 2011年版薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト(じほう)				
参考書	スタンダード薬学シリーズ11 「病院・薬局実務実習Ⅰ・Ⅱ」日本薬学会など編/東京化学同人				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	社会人としての常識とコミュニケーション能力は必須。11週間の実習中は実務実習指導薬剤師の指導により薬局実習を行う。日々の実務実習記録を指定の様式に沿って記録する。各週の土曜日は原則登校し、担当教員に報告する。				
講義計画					
保険薬局の実務実習指導薬剤師の指導監督の下、以下の6項目についての基本的な知識、技能、態度の修得を目標に11週間、保険薬局で実習を行う。 （1）薬局アイテムと管理:薬局で取り扱うアイテム（品目）の医療、保健・衛生における役割を理解し、それらの管理と保存に関する基本的知識と技能を修得する。 （2）情報のアクセスと活用:医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、薬局における医薬品情報管理業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。 （3）薬局調剤を実践する:薬局調剤を適切に行うために、調剤、医薬品の適正な使用、リスクマネジメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。 （4）薬局カウンターで学ぶ:地域社会での健康管理における薬局と薬剤師の役割を理解するために、薬局カウンターでの患者、顧客の接遇に関する基本的知識、技能、態度を修得する。 （5）地域で活躍する薬剤師:地域に密着した薬剤師として活躍できるようになるために、在宅医療、地域医療、地域福祉、災害時医療、地域保健などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。 （6）薬局業務を総合的に学ぶ:調剤、服薬指導、患者・顧客接遇などの薬局薬剤師の職務を総合的に実習する。					